

滋賀県が「SDGs未来都市」に選定されました。

このたび、本県がSDGsの達成に向け優れた取り組みを進める「SDGs未来都市」(昨年:29自治体、今年:31自治体)に選定されましたので、お知らせします。

本県が提案したテーマは、「世界から選ばれる『三方よし・未来よし』の滋賀の実現」であり、今後、未来都市としての計画を策定し、持続可能な滋賀の実現に取り組めます。

<滋賀県知事コメント>

本県は、全国に先駆けて平成29年1月にSDGsを県政に取り込むことを宣言いたしました。持続可能な社会を実現するのは「人の力」であり、「知ること」「学ぶこと」は社会を変革することにつながります。

本県は、SDGsのターゲットイヤーである2030年、さらにはその先の2050年、2100年をも見据えながら、世界とのつながりの中で、「三方よし・未来よし」の滋賀を担う人を育てる未来都市を目指して、取組を進めてまいります。

参考)

「SDGs未来都市」とは、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」および「SDGsアクションプラン」に基づき、内閣府が募集を行い、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるものです。

SDGs 未来都市提案事業の概要

テーマ：世界から選ばれる「三方よし・未来よし」の滋賀の実現



経済

社会



課題：担い手不足、産業規模の縮小

- ・ビワイチの推進
- ・水環境ビジネスの展開
- ・琵琶湖と共生する農林水産業の推進

課題：コミュニティの弱体化

- ・共生社会づくり、アール・ブリュットの魅力発信
- ・やまの健康の推進
- ・日本遺産等の歴史的文化遺産の保護と活用

**三側面をつなぐ統合的取組
滋賀の未来をつくる担い手育成システムの構築**

課題：健全な自然環境の維持

- ・琵琶湖の水草対策と活用
- ・琵琶湖の水産資源の回復
- ・「うみのこ」など体験型環境学習の推進
- ・「びわ湖の日」の活動推進
- ・湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信

環境

